(別紙2－3)

事業所名　グループホーム　イーハトーブ

作成日：　平成　22年　　3月　　17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 民生委員さん、自治会長さんなどに協力を求めているが、地域の方との連携は摸索中である。	地域との交流。	ホーム内の見学や、避難訓練の見学に来て頂き、ホーム内の構造、入居者様の状況を知って頂く。	12ヶ月
2	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 入居者様一人ひとりに合った言葉かけに努めてはいるが、時折行き過ぎた言動が耳に留まる事がある。	利用者様が納得いくような声掛けを行い、工夫していく。	週1回のフロア会議で話し合い、支援の統一を徹底していく。家族の面会時には、入居者様の状況報告をする。又、請求書と一緒に、入居者様の状況報告等手紙を送付。	12ヶ月
3	34	○急変や事故発生時に備え 初期マニュアル、応急手当マニュアルは目につく所に掲げてあるが、訓練は行われておらず実践力には、乏しい状態である。	定期的の応急手当、初期対応の研修、訓練を行う。	小川町の有料老人ホームと合同で、定期的に協力医院Drや、消防署の方へ依頼し研修、訓練を実施していく。	12ヶ月
4	18	○本人と共に過ごし支えあう関係 共に過ごす日常の中で、利用者の喜怒哀楽な感情に寄り添う事に努めてはいるが、お互いが協同するまでには達しておらず、介護主体の場面も多々見られる。	一人ひとりの存在を大切にする。	職員の余裕（出勤人数）がある時は、1対1の場をできるだけ多く持ち、一緒に居室で過ごしたり、外出したりする。又、誕生日には、ご本人と一緒に担当職員が外出。 入居者の方ができそうな事でも全て職員が行っている為、一人ひとりに役割を持って頂けるよう、できる事、できそうな事を職員が見つけ出し、一緒に行っていく。（食器拭き、掃除等）	12ヶ月
5					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。